

田原市トルコギキョウ栽培技術高度化協議会(愛知県田原市)

1 産地の概要

<対象地域> 愛知県田原市

<対象品目> トルコギキョウ

<産地の現状・課題>

- ・トルコギキョウ(別称:リシアンサス)は県内生産量の82%を田原市が占める(R1花き生産実績)本地域の特徴的な切り花品目で、近年需要が増加しており、国産花きの有望品目として期待が高い。
- ・灰色かび病による花シミ症状は冷涼多湿の条件で多発する重要病害であり、トルコギキョウ生産において非常に問題となっている。
- ・薬剤耐性菌の出現リスクや環境負荷低減の観点から、持続的に安定生産を行うため、施設内環境の改善や生物農薬の活用など化学農薬に依存しない防除手段が求められている。

2 検討体制

<田原市トルコギキョウ栽培技術高度化協議会構成員と役割>

- ・JA愛知みなみリシアンサス出荷連合
(現場実証の実施、マニュアル・産地戦略の策定)
- ・愛知みなみ農業協同組合
(協議会事務局、検討会の開催、マニュアル・産地戦略の策定)
- ・愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課、農業総合試験場普及戦略部技術推進室
(技術支援、実証内容の分析、マニュアル・産地戦略の策定)



トルコギキョウの栽培風景



環境モニタリング装置
あぐりログ



自動散布機
きつつき君

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学合成農薬の使用量低減	花卉発生期から収穫まで	<取り入れる技術> ・環境モニタリング装置 ・微生物農薬の活用
		<見込まれる効果> ・環境データを参考にした施設内環境の改善 ・化学合成農薬の散布回数削減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
花卉発生期から収穫まで	<取り入れる技術> ・環境モニタリング装置 ・農薬の自動投入機
	<見込まれる効果> ・環境データの手動測定、情報共有の作業を削減 ・農薬散布回数の削減

4 活動内容及び今後の展開

<活動内容>

- ・施設内湿度を中心とした環境モニタリングデータの共有と解析
- ・微生物農薬の効果の実証、省力化の確認
- ・マニュアル・産地戦略の作成

<今後の展開>

- ・マニュアルに基づく栽培指導、勉強会の開催
- ・年間を通じた環境モニタリングの実施